

恋をしましょう (1960)

LET'S MAKE LOVE

メディア 映画

ジャンル コメディ ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 118分

初公開日 1960/12/27

公開情報 FOX

【解説】

恋多き女モンローが共演者とロマンスに落ちることは存外なかったが、本作の相手役モンタンとは激しい恋をしたので有名。やはり恋多き男だったさしものモンタンもアメリカに行きっ放しになるほど夢中で、妻シモーヌ・シニョレは自殺未遂を起こしたとも聞く。が、映画の中のロマンスはあまりピリッとしなない。億万長者で色事師としても知られるクレマンは、彼を皮肉った芝居のリハーサルを見て、妖艶に踊るアマダに一目惚れ。彼を演じる役者探しが難航していると知ったクレマンは、彼女に近づきたいがために、身元を隠し、そのオーディションを受ける……。純然たるミュージカルではないが、サミー・カーン、ジェームズ・ヴァン・ヒューゼンによる表題曲やコール・ポーターの“私の心はパパのもの”などの佳曲がモンロー独特の甘い声で唄われ、当然、モンタンも美声を披露。G・キューカーのメガホンで、品のよい豪華さは出たが、作品の焦点はボヤけてしまっている。

【クレジット】

監督	ジョージ・キューカー	George Cukor	
製作	ジェリー・ウォルド	Jerry Wald	
脚本	ノーマン・クラスナー	Norman Krasna	
	ハル・カンター	Hal Kanter	
撮影	ダニエル・L・ファップ	Daniel L. Fapp	
編集	デヴィッド・ブレサートン	David Bretherton	
音楽監督	ライオネル・ニューマン	Lionel Newman	
音楽	アール・H・ヘイゲン	Earl H. Hagen	
出演	マリリン・モンロー	Marilyn Monroe	アマダ・デル
	イヴ・モンタン	Yves Montand	ジャン＝マルク・クレマン
	トニー・ランドール	Tony Randall	アレクサンダー・コフマン
	フランキー・ヴォーガン	Frankie Vaughan	トニー・ダントン
	ウィルフリッド・ハイド＝ホワイト	Wilfrid Hyde-White	ジョージ・ウェルチ
	デヴィッド・バーンズ	David Burns	オリヴァー・バートン
	マイケル・デヴィッド	Michael David	デイヴ・ケリー
	マーラ・リン	Mara Lynn	リリー・ナイルズ
	ジョー・ベサー	Joe Besser	チャーリー・ラモント